

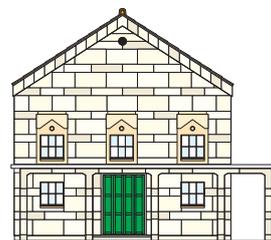
Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-01-10

APM news 053

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

長岡市立上組小学校3年生による

鑑賞授業 in APM 10月26日(水) am9:50~10:50



今年も上組小学校の生徒たちがAPMにやってきた。昨年、一昨年と展示作品を前に鑑賞授業を行ったのは6年生であったが、今年は3年生。約90名の生徒たちが大学院生のポスターから何を読み取るのか楽しみである。今回は、「ポスターがどんなことを言っているかを勝手に想像する」「そのメッセージに返事をする」という二つの作業を中心に鑑賞授業が行われた。ワークシートが各作家の作品の前に置かれ、授業が始まる。担当の先生が「これから展示されている作品をよく見て、このポスターはこう言っているんじゃないかなということ勝手に想像して書きましょう」と説明する。ワークシートには「○○さんはこう言っている…と思う」と書かれ、余白にはいくつかの吹き出しが記載されていた。開始の合図とともに、生徒たちはそれぞれのポスターの前に置かれたワークシートに殺到する。中にはいくつものポスターをはしごする強者も。その作業がひと段落すると、先生がいくつかのメッセージを読み上げ、様々な感じ方を生徒たちに紹介した。その後ハガキ大の用紙が配られ次の作業に。用紙には「○○さんのメッセージへ返事を書こう」とあり、先ほど作品から受け取ったメッセージに対する返事を各自が書いていく。ひとりで黙々と取り組む生徒もいれば、友達と相談しながら考えをまとめていく生徒もおり、それぞれが真剣に取り組んでいる。

担当の先生が以前「見る」ことがとても大切なのだと話しておられた。通常我々は物を見ているようで見ていないのだという。確かに、今回小学生の意見を聞いて初めて気づいた点がいくつもある。キャプションを読んで、作品を見て、理解したつもりになっていた。違った見方がたくさんある、そう気づかせてくれた上組小学校3年生の鑑賞授業であった。

(森山奈帆・APM職員) APM公式ホームページより抜粋



鑑賞授業風景